

筏住宅の再生、生業の創出

ーバーン・マンコン事業5

石原一彦(立命館大学教授・新建京都支部)

■掲載写真・図



筏住宅の外観。3棟連なっている



タイ式の屋根ののった筏住宅



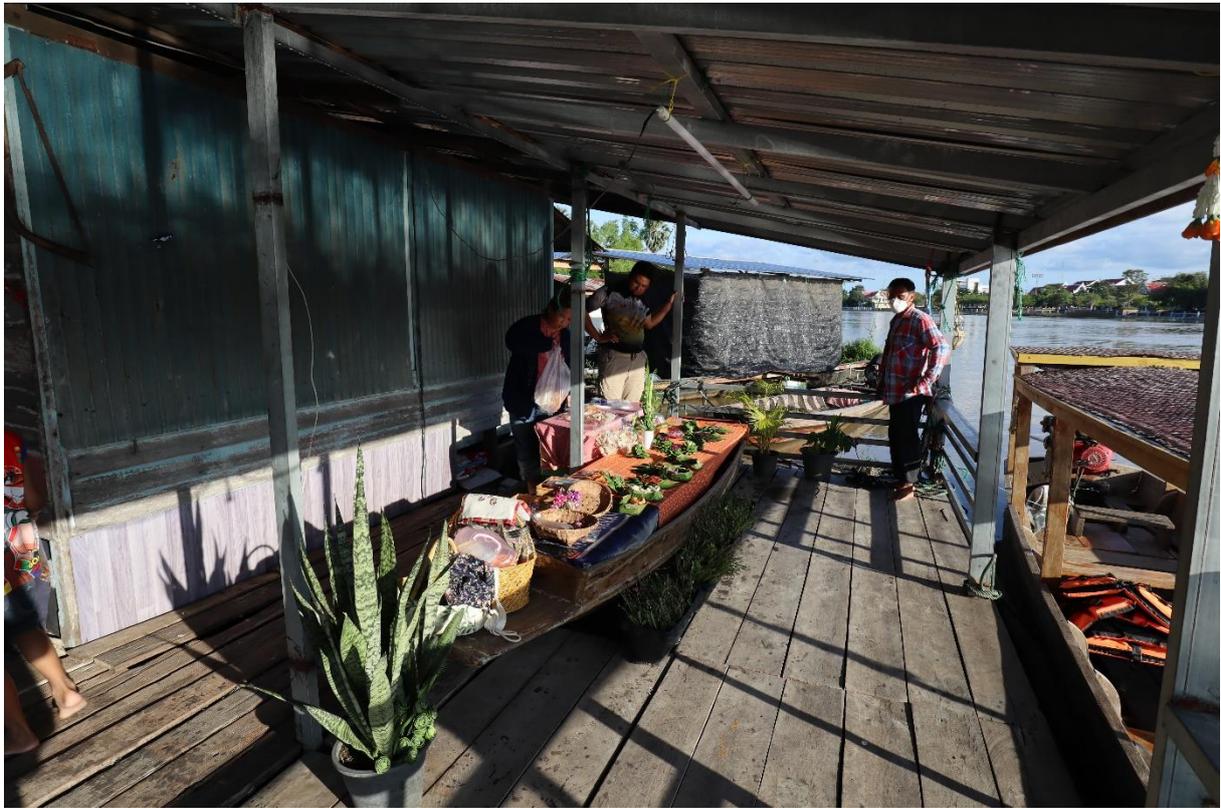
浮材は、元は竹材(上)、現在はドラム缶(下)



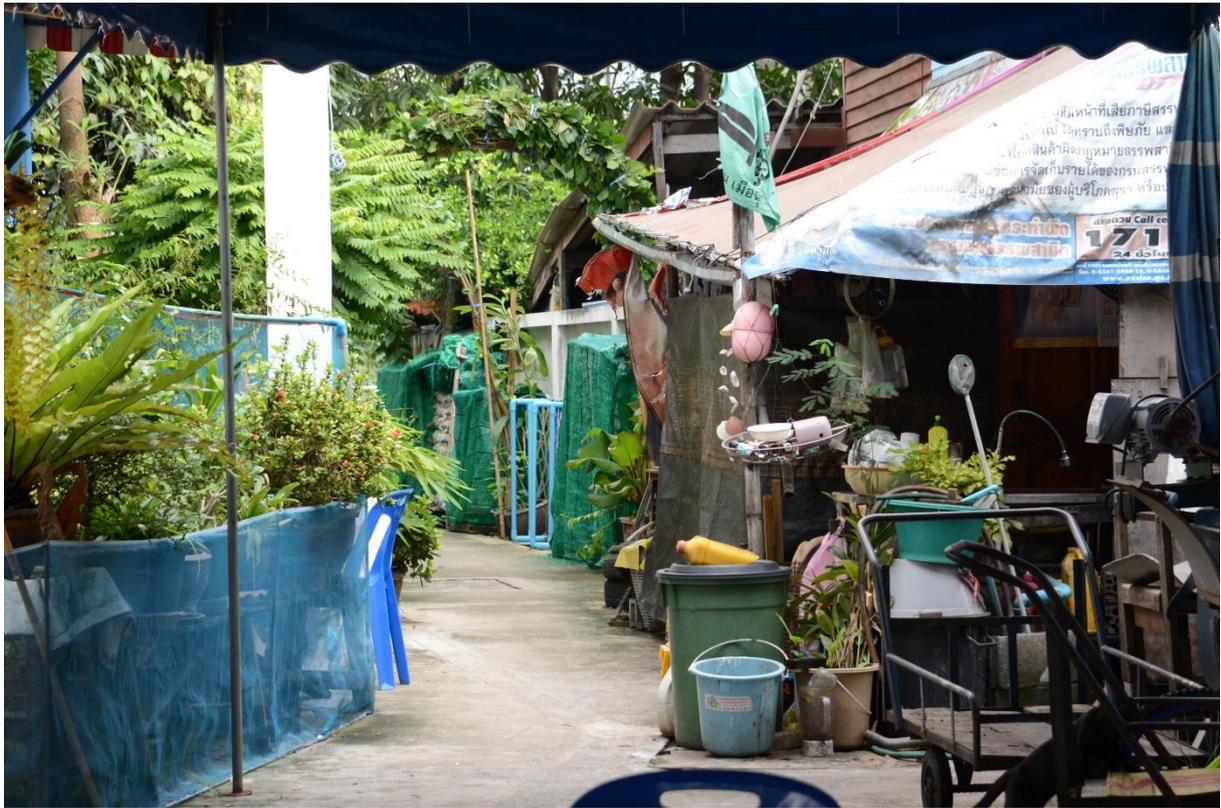
筏の上では、魚が干されている



近所の人が集まって話をする光景が見られるようになった



筏住宅の軒先で売られている手作りの髪飾りなどの小物



コー・クラン地区の整備された歩道



コミュニティで製造された洗剤等の製品